

令和4年6月1日に思う

笑顔が満載のカラー版「園だより」が毎月届けられます。丁寧にクラスごとに作成されており、「子どもが主役」とする園の姿勢がうかがえ、楽しく読ませていただいています。

さて、「やまぶき保育園」はお子様を“お預かり”するだけの施設ではありません。もちろん、保護者のみなさまに安心してお子様をお預けしていただける施設であることは大前提です。加えて、「川上村での学びのスタート地点として、全ての子どもに“生きる力の基礎”を育むこと」を目標に掲げ、園長先生を中心に職員が一丸となって日々熱心に取り組んでくれています。

新年度は総勢23名の園児で賑やかなスタートです。年齢ごとにクラスを分け、それぞれに担任の先生を配置することで子ども一人一人に丁寧に向き合い「やりたい気持ち」や「自発的な学び」を大切に伸ばすことができる環境を整えています。一方で、年齢の枠を越えて園全体で輪になって活動することも大切にしており「思いやりの心」を育みながら仲良く元気に成長してくれていると感じています。

そして、令和6年4月に開園する新園舎は義務教育学校と併設されます。さらに大きな輪の中で、よりたくさんの刺激を受けてさらに大きく成長してくれると確信しています。

昔より「三つ子の魂 百まで」と言われています。歩きはじめ、喋りはじめの幼い時分に身についた癖は一生の癖、の意味のようであります。やはり、わが村の子どもたちが元気で優秀なのは、まさにここから始まっているように思います。